

## 日本ピックルボール協会

### ピックルボール国際組織の統合協議開始 日本ピックルボール協会、 年末の GPF 年次総会へ日本代表を派遣予定

日本ピックルボール協会（以下、JPA）が加盟する、Global Pickleball Federation（GPF）と United World Pickleball Federation（UWPF）が、国際統括体制の整備に向けた構想を発表しました。

JPA では、本構想が世界的なピックルボールのさらなる発展に資する重要な一歩であると捉え、2025 年 11 月末に開催される GPF 年次総会に日本代表を派遣し、国際的議論への積極的な参画と、日本のプレゼンス強化に努めてまいります。

#### ◆統合協議の背景について

世界各地で競技人口や大会数が増加する中、ピックルボールの国際統括の枠組みに関する議論が加速しています。今回 GPF と UWPF から公表された構想計画は、国際的なガバナンスの在り方、組織構造、ルール整備などに関する提案などが含まれており、将来的なオリンピック種目への採用に向けても大きな影響を持つ内容となっています。



GPF 提供：日本ピックルボール協会（JPA）は、Global Pickleball Federation の正式加盟団体です。

#### ◆GPF と UWPF の概要及び JPA にとっての加盟意義

今回協議を行う Global Pickleball Federation（GPF）は、70 か国以上が加盟する世界最大規模の国際ピックルボール連盟で、国際競技としての基盤整備や普及推進において最も確立されたネットワ

ークと実績を持つ国際組織です。

一方、United World Pickleball Federation (UWPF) は、新興の国際組織として地域単位の普及促進を中心に活動しており、両組織の協働は、競技全体の国際基盤をより強固にし、整合性のある国際ルールや大会体系の構築につながることが期待されています。

JPA が正式加盟する GPF は、国際的に最も広く認知され、信頼性の高い国際連盟であり、日本が世界的議論の中で発言力を持ち、日本の競技発展を国際基準へ引き上げる上で、極めて重要な位置づけであると言えます。

なお、日本ピックルボール協会 (JPA) は、GPF におけるアジア大陸組織“Asia Pickleball Association (APA)”の理事国として選出されており、アジア地域の競技発展において重要な役割も担っています。

#### ◆JPA としての今後の行動方針（年末 GPF 総会にむけて）

今回の国際的な議論を、日本における競技発展をさらに進める好機と捉え、国内で取り組む普及活動や大会運営、ルール整備を一層推進し、日本の存在感を高めるとともに、アジア地域での競技発展にも貢献することを目指しています。

その一環として、年末に開催される GPF 年次総会へ日本代表を派遣し、国際連携を強化しながら、日本の立場や知見を積極的に発信していきます。

#### ◆公式Instagram

[https://www.instagram.com/japanpickleball\\_official/](https://www.instagram.com/japanpickleball_official/)



#### ◆日本ピックルボール協会・公式サイト

<https://japanpickleball.org/>



#### ■日本ピックルボール協会に関するお問合せ

[nishigami@japanpickleball.org](mailto:nishigami@japanpickleball.org)

日本ピックルボール協会・副会長 西上茂(株式会社カシマヤ製作所)

#### ■報道関係者からのお問合せ

(株)マイルスコミュニケーションズ増山/森元 TEL 090-3044-2575